

犬塚の跡碑 (大津)

大津には、お伊勢参りをしたと伝わる白い犬の物語が残っています。真田藩政の時代の検地にはすでに記録が見え、この話はそれより前から地域で語られてきたといわれています。

鳩

ほとぼっぱ神社 (川原湯)

昭和32年週刊読売という雑誌が開催した全国温泉コンクール。読者がはかきで応募するもので、川原湯温泉は全国で8位に入賞。その記念碑です。

王湯の鍾馗様 (川原湯)

守り神

玄關上の軒先から鋭い眼光で正面をにらんだ姿で家の中へ侵入しようとする悪鬼たちを退散させてくれる守り神。旧王湯から現在の王湯に移されました。

猫?

にゃがのはら (長野原)

2016年のキャラクター募集で203点あった応募の中から選ばれました。誕生日は7月26日、年齢はにゃにゃ才、性格はマイペースで人なつこい! 役場の玄關前で皆さんをお出迎え!

アポなし 出会い隊

Vol.50

テクテク

～町中の「ちょっと気になる造形物」～

浅間山

北軽井沢開発の碑

浅間山の形をした「北軽井沢開発の碑」は、地域の発展に尽力した人々の功績を伝えています。

浅間高原レース発祥の地碑 (北軽井沢)

1955年に行われた浅間高原レースを記念する碑が建ち、上部には当時のオートバイを模した像が飾られています。

オートバイ

新井橋の橋名板 (与喜屋)

鰐の形をした橋名板が目玉を引きます。近くには「荒神さん」と親しまれる養蚕神社があり、毎年5月には明治25年頃から続く歴史ある神楽が奉納されます。

人物

青山孝吉像 (北軽井沢)

北軽井沢の発展に尽力した実業家・青山孝吉氏。道路整備や公共施設用地の提供など地域に大きく貢献。功績を称えて旧北軽井沢駅前に銅像が建てられています。

カブトムシ

旧草軽電鉄車両 (北軽井沢)

草軽電鉄で「カブトムシ」と親しまれた旧型車両が展示されています。軽便鉄道でこの形を持つのは草軽電鉄だけでした。

密着します!べったり娘

長野原町営浅間園

～夏休みのイベント「コケをさがそう」～

コケってどんなイメージですか?地味、暗い、じめじめ?それじゃコケが可哀そう。「コケの生活がわかるとおもしろい!」をテーマに浅間園サポーターズの皆さんが楽しくわかりやすく教えてくださいました。浅間園はコケの宝庫で種類も豊富です。「○○ゴケ」という名称のものがたくさんありますが、名前はコケだけ「苔」じゃないものもある。感心しきりの筆者。煤(すす)けた色のコケにスプレーで水をかけると、あら不思議!ポワァと開いて鮮やかな緑に変わり、まるでコケが目覚まして「おはよう」と言っているようです。みんなでスプレー片手にコケを探しに出かけ、散策路から見える雄大な浅間山を見ながら、いろいろな種類のコケにシュッシュしてコケの違いを堪能しました。最後はコケポット作りに挑戦。数種類のコケや土・石などをポットの中に配置して作ります③。

種類もたくさん!

丁寧に採取します

雰囲気があるコケポットに大満足!

ひとつひとつ雰囲気の違い、小さな森の世界の可愛いコケポットが出来上がりました。コケって知れば知るほどおもしろい!

③浅間園ビジターセンターの周辺では、コケをはじめ植物や溶岩などの自然物の採取が固く禁止されています。今回使った材料はサポーターズの皆さんがイベント用に用意したものです。

つなぐカンパニーながのはら

お問合せ

一般社団法人つなぐカンパニーながのはら 事務局

群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯223番地5 [川原湯温泉あそびの基地NOA内]

Tel.0279-82-5895(代表) Fax.0279-82-5896

info@tsunacom.or.jp

最新の活動は、facebook「つなぐカンパニーながのはら」でも発信しています。

「つなカン」HPはコチラでアクセス→

76号

2026.9

つなぐカンパニーながのはら

ら♪ら♪ら通信

夏のきゅうりはとっても美味しい!青臭さはなく、噛めばみずみずしさが口の中で広がっていくのが好き。そのみずみずしさを堪能したくて、塩や味噌でそのまま食べるのはもちろん、豚肉と炒めたりピリ辛醤油漬けにして食べたりといろいろアレンジして食べるのも楽しい。夏バテしそだった今年の夏。さっぱり塩きゅうりに大変お世話になりました

つなカンミーティング「星河明彦町長ってどんな人?」を開催!

つなカンミーティングを1年8ヶ月ぶりに開催します。今回のテーマは「星河明彦町長ってどんな人?」です。今年4月に新しく長野原町の町長に就任した星河町長をお迎えし、新町長の人柄や考え、そして長野原町の未来について、町の皆さんに直接感じていただきたい。そんな思いから、つなカンならではのこの企画が生まれました。ぜひこの機会にご参加いただき、町長の「生の声」を聞いてみませんか。

町長へのご質問は、お申し込み時に参加者の皆さんから受け付けます。お寄せいただいたご質問はすべて町長に事前に共有いたしますが、当日は時間の都合上、すべての質問にお答えできない場合があります。あらかじめご了承ください。町長の生の声を聞ける貴重な機会です。どうぞ気軽にご参加いただき、このミーティングを通して、長野原町がもっと暮らしやすくなる未来を、皆さんとともに育んでいける時間になればと願っています。

「町長と話そう」は、町民皆様の声を直接お聞きし、ともに長野原町の未来を考えるための意見交換の場です。日頃感じている事や地域への思い、町政へのご意見・ご提案などをぜひ率直にお聞かせ下さい。一人ひとりの声を大切に受止め、笑顔あふれるまちづくりに繋げてまいります。皆様との対話を通じて、より良い長野原町と一緒に築いていきたいと考えております。皆様の参加を心よりお待ちしております。

長野原町長 星河明彦

日程

2026年10月24日(土)

時間

14:00~16:00(受付13:30~)

定員

100名(定員に達した場合は申込を終了いたします)

場所

@長野原(住民総合センター)大ホール

参加費

つなカン会員無料、一般100円

申込方法

QRコードを読み込み、申込フォームよりお申し込みください
※申込期間 9月15日~10月5日

ダムオープン化「ハッ場の日」不動大橋にキッチンカーが大集合!

8月8日「ハッ場あがつま湖 打ち上げ花火」が夜7時半から開催されました。午後5時から是不動大橋が歩行者天国になり、橋の上には24店舗のキッチンカーや出店が並び、多くの人でにぎわいました。つなカンでは今年もキッチンカーの手配や誘導を担当しました。キッチンカーの営業開始時間には雨も上がり、来場者は花火までの時間を思い思いに楽しんでいました。花火は不動大橋の真ん前で上がるので、迫力ある花火を間近で楽しめるのも魅力のひとつです。

年々盛り上がりを見せる「まるっとハッ場フェスティバル」は、長野原町の夏を彩る一大イベントへと成長しています。これからも、地域に寄り添う夏の風景として続いていければと思います。

ふるさと再発見企画

TOPIC
01

「～歩いてめぐる川原湯温泉～
なっから歩くんべえ 2026」のご案内

住んでいるけど意外に知らない？長野原町のすごいところを再発見しよう！

「つなカン」では、見て・触れて・体験しながら長野原町を知る「つなカン ふるさと再発見」を企画しています。今回は新企画として、川原湯温泉エリアを散策しながら名所をめぐり、川原湯の“いま”を楽しめます。ちょうど紅葉が美しく色づく季節で、湖面や山々の景色が歩きたびに表情を変え、秋ならではの魅力を感じられます。散策コースは約5キロほどで、移築された温泉や神社、そしてハッ場ダム周辺の新しい風景など、見どころが随所に広がっています。歩きながら、川原湯温泉が辿ってきた歴史と、今ここにある新しい姿の両方を感じられる、学びと発見に満ちた企画となっています。歩きたびに景色や歴史の発見があり、気分もリフレッシュできる楽しい企画です。ぜひご参加ください。

日時 **2026年11月8日** 9:00～12:00
※雨天中止

定員 **20名(定員になり次第締切)**
※最低催行人数10名

集合場所 **川原湯温泉駅**

参加費 **長野原町民500円**
町外者1000円

申込方法 **QRコードを読み込み**
申込みフォームから→

※申込期間 9月15日～11月2日



TOPIC
02

夏のひととき♪クラインガルテンハッ場納涼祭

8月8日、クラインガルテンハッ場利用者主催の納涼祭が開かれました。クラインガルテン利用者や川原畑区民ら16名が参加し、共有スペースの清掃作業を行った後、各自が差し入れを持ち寄って交流会を開き、親睦を深めました。交流会の後には、不動大橋から打ち上げ花火を観覧しました。縁あって入居された皆さんが、楽しく住みやすいクラインガルテン生活を送れるよう、今後もさまざまな交流を体験していただければと思います。



もっとつながる＊つなカン情報 Tsunacom Information

会員募集中

町内外問わずどなたでも入会いただけます

～皆さまの活躍の場があります！～

町の課題や活性化のアイデアなどについて自由に話し合う「つなカンミーティング」にも参加できます！

入会希望の方は事務局までご連絡ください

つなカンチャレンジ随時募集中！

1人でも応募OK！

公益性や新規性があることでやりたいことにチャレンジ！
つなカンが広報のお手伝いをしたり、補助金（最大5万円まで）が出ます

流れ

住民

企画提案

つなカン

提案内容を審議して
支援を決定！

つなカン

経費の支給・広報

ふるさと再発見企画

TOPIC
03

おやこで自然体験！虫たちの不思議な世界
「夏編」ご参加ありがとうございました♪

「おやこで自然体験！虫たちの不思議な世界～小さな発見、大きな感動～」の夏編を、8月2日に開催しました。まずは涼しい木陰で「昆虫ってどんなもの？」をテーマに学びました。昆虫は「頭・胸・腹」の3つに分かれ、6本の足は胸から生えていること、蝶などの幼虫（いわゆるイモムシ）も足は6本であること、そしてダニは昆虫ではないことなど、身近なのに意外と知らないポイントに子どももおとなも興味津々でした。続いて蝶クイズに挑戦し、種類や特徴、習性などを楽しく学びました。参加者の中には蝶にとっても詳しいお子さんもいて、次々と名前を教えてくださいの姿に驚かされました。その後は、昆虫は観察したらすぐに放す、図鑑ですぐに調べる、写真で「捕る」という方法で、親子みんなで昆虫たちの世界をのぞき込みました。自然の中での小さな発見が、子どもたちの大きな感動につながっていく様子が印象的でした。最後はみんなで「虫のポーズ」をして集合写真を撮り、笑顔いっぱいの締めくくりとなりました。親子全員で自然とふれあい、学びと発見に満ちた楽しいイベントとなりました。6月の基礎編、そして今回の夏編にご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



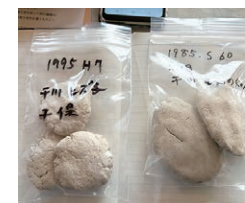
ガイドの小野さん



TOPIC
04

いってんべえ やってんべえ 伝統食 孺恋くろこ

孺恋村に伝わる伝統食くろこ。孺恋はキャベツが有名ですが、かつてはジャガイモが主要な農作物。このジャガイモからデンプンを取って作るかたくり粉がこの村の人々の主要な収入源でした。天明の大飢饉など食料に苦しんだ時、外に放置してあったジャガイモの絞りかすを利用して食べるようになった、これが孺恋くろこです。食物繊維も豊富で健康にも良く、捨てるはずだった絞りかすを利用した究極のSDG's食材。さらに数十年以上も腐らず食べられるスーパー保存食でもあります。今回UBUKATA cafeで行われた孺恋くろこ保存会会長の土屋さんの「くろこ出前講座」に参加しました。くろこの凄さ、魅力に感心した後は、お楽しみの試食会。そば粉を混ぜて焼く「くろこせんべい」、小麦粉やネギ、味噌を混ぜて揚げる「くろこ揚げ」の2種類をいただきました。素朴なおいしさで手が止まらない私たち。主食にもおやつにもどちらでも楽しめるおいしさです。くろこを知らない、食べたことがない人も少なくないといえます。保存会の皆さんはくろこを知ってもらうとともに、くろこを絶やさないようにレシピを残していく活動をしています。孺恋観光案内所、浅間山北麓ジオパーク総合インフォメーションセンターなどで家でも簡単に作れるレシピ付きのくろこを販売しています。ぜひお試しあれ！



左は1995年、右は1985年のくろこ。
40年前でも味は同じ！



くろこせんべい



くろこ揚げ



孺恋くろこ保存会会長
土屋さん(写真・真ん中)

つなカン会員による＊活動掲示板＊

第4回「おいでよ!きたかる夏まつり」
★最高でした★



「おいでよ!きたかる夏まつり」が8月15日に開催され、今年も大いに盛り上がりしました。今回は時間が14時～19時に変更され、夕暮れの提灯が灯る中で盆踊りが行われました。恒例のウォーターバトルやステージ発表、キッチンカー、ゲームなど多彩なブースが並び、来場者が楽しめる工夫が随所に見られました。中高生からシニアまで約100名のボランティアが自ら動く姿から、まさに「みんなで作り上げる祭り」であることを毎回実感します。実行委員12名は、「親世代が続けてきた夏まつりを、今度は親になった自分たちが子どもへつないでいきたい。地元を離れた人が、これを機に帰ってきたくなる祭りにしたい」という共通の思いを胸に、熱いエネルギーで運営しています。来場者の年齢層も幅広く、特に若い世代が増えているのは、楽しい祭りとして認知されてきた証です。第5回では花火の打ち上げを目指すという夢もあり、来年の開催が今から楽しみです。来年は、まだ来たことのない方もぜひ遊びに来てくださいね。



長野原町のハートフルスポット

たくさんの三角～狩宿発電所～

石の煙突もあるログハウスの可愛い建物。
入口は三角のデザイン。木々も三角形で可愛い。



公開中だよ/
ハートフルMAP



ハッ場ダムのダムサイトエリアで
営業を行う事業者を募集中

多くの観光客が集まるエリアを有効利用し、回遊性の向上と地域活性化につながることを目的としています。この「都市・地域再生等利用区域（河川空間のオープン化）」は長野原町が国土交通省に要望し、指定されました。利用の調整や許可は長野原町から委託を受け当団体が行います。詳細はQRコードよりご覧ください。

